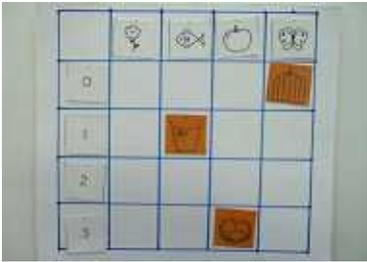
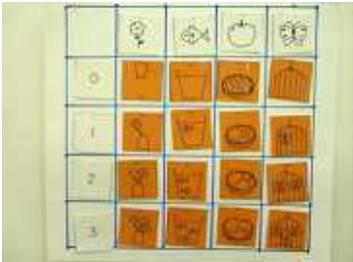


教材事例書式

教材教具名	マトリックス	教科(数学)
<p>教材教具写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;"> 教師が白いカードを 並べ、基準を示す 生徒は基準を見て、オレンジ カードを正しい位置に並べる 完成！ </p>		
教材教具の概略(ねらいと使い方)		
<p>1 ねらい 一つのカードを見てそれから形と数の情報を読み取る。</p> <p>2 発達段階 形を判別できる 3つまでの数を見ただけで読み取れる。</p> <p>3 使い方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教師は枠の縦・横に白いカードを並べる。(これが並べる基準となる) 2 生徒は基準の白カードを見て、オレンジのカードを正しい位置に並べる。 3 その他 <ul style="list-style-type: none"> 基準となる縦枠に形カードを 横に数字のカードを並べる。 (縦 横の基準を逆にする) 基準となる枠の数カードを0～3の順でなくアトランダムに並べる など難易度を高めることもできる。 		
児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)		
<p>教示を示しただけでは、何をどうするのがわかりにくい、学習を重ねるとカードを置くだけで生徒が一人で取り組むことができる。</p> <p>並べる基準を、色、数、形、などいろいろ変化させて教材をつくることもできる。また、数も10までに増やすなど、生徒の課題にあわせていろいろなバリエーションを工夫することができる。</p>		